

議員インターンを 終えて

2月から3月の春休みを利用して、神原議員のもとで議員インターンシップに取り組ませて頂きました。ここでは、2か月間のインターンシップに参加した3人の感想や、今回学んだことをどのように繋げていくかを綴っています。



政治の世界により詳しくなった(米田)

インターンシップに参加しようと考えたのは、自分が4年間住むことになる豊中市というまちを、より深く知りたいと考えたからです。また、普段は閉鎖的に感じられる政治の世界に対して、かねてから興味を持っていました。豊中市では現在どのようなことが問題となっているのか、市議会議員はそうした問題に対してどのようなアプローチを行っているのかを知ることを目的として活動に取り組ませていただきました。

約2か月間にわたる活動を通して、上記の目的は一定程度達成できたように思います。豊中市の政策や政策決定のプロセス等、多くのことを学び、大変価値のある時間を過ごさせていただいたと思っています。今回学んだことを、これからの学習に役立てていきたいと考えています。

これからの学びに繋がる経験(多田)

議員インターンシップへの参加動機は、政治や議会、議員の活動、社会問題、様々な人の考え方などを知りたいと思ったからです。また、人前で自分の考えを話すことに対する苦手を克服したいとも考えました。

議員インターンシップの活動としては、神原議員とともに市政報告会やフォーラム、勉強会への参加、議会の代表質問や委員会の傍聴、朝の街頭活動などをしました。これらの活動や議員との話を通して、議会や政治のこと、これまで知らなかった取り組みや考え方を学ぶことができました。

インターンで学んだことをこれからの大学の勉強でも生かして行きたいと思います。また学んだことをさらに深めていきたいです。

2か月前とは違う自分に(大石)

今回のインターンシップで、議員の活動を体験することができました。特に、朝早くからのビラ配りと街頭演説は強く印象に残っています。駅の前でマイクをもって話すという緊張感を味わえたことは、貴重な経験になりました。また、豊中市の行政についても詳しくなりました。私の関心のある分野である「子どもの教育」について、現状をヒアリングすると、これから豊中市が行おうとしている施策の意図が深く理解できました。

ここでの学びを生かして、地方政治についても興味をもって選挙にも臨んでいきたいと思っています。



米田 涼

大阪大学 法学部法学科 2年

多田 聡子

大阪大学 法学部国際公共政策学科 2年

大石 朋幸

大阪大学 法学部国際公共政策学科 2年

ABOUT US

